



平成 30 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
 代 表 者 名 代表取締役社長 福 永 健 司  
 (コード番号 2342 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 取 締 役 船 橋 泰  
 (電 話 番 号 03-6551-2601)

### 通期業績予想の修正及び平成 31 年 3 月期の業績予想に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 4 月 25 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 5 月 12 日の平成 29 年 3 月期決算発表時に開示した平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想の修正、及び平成 31 年 3 月期の業績予想について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,410	200	170	110	7.66
今回修正予想 (B)	3,600	60	14	20	1.41
増 減 額 (B - A)	1,190	△140	△156	△90	
増 減 率 ( % )	49.4	△70.0	△91.8	△81.8	
(参考) 前期連結実績 (平成 29 年 3 月期)	2,302	153	88	80	5.63

#### 修正の理由

平成 30 年 3 月期は、利益面に関しましては公表数値に対して未達となりましたが、連結売上高については M&A 推進の過程で取得した新規連結子会社 2 社がそれぞれ第 3 四半期及び第 4 四半期期首から約 1,500 百万円貢献し、公表数値を大幅に上回る見通しとなりました。営業利益についても新規連結子会社 2 社が期中取得ながらも約 45 百万円貢献いたしました。ジェノミクス事業において、CRISPR/Cas9 を代表とする「遺伝子改変技術」に関する急激な技術革新の影響により、研究者自らが遺伝子改変マウスを作製することが可能となり、受託市場が急速に縮小し大幅な減収減益となったこと、及び CRO 事業についても、これまで受注・売上拡大を実現してきておりましたが、当期計画受注の未達により十分に挽回することが出来ず減収減益となった結果、期初発表数値よりも大幅に下回る見通しとなりました。

また、資金調達に関する費用及び M&A 関連費用の負担により経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても期初発表数値よりも下回る見通しとなりました。

#### 2. 平成 31 年 3 月期の業績予想（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

平成31年3月期の業績予想に関しまして、例年は当期の決算短信発表時に併せて公表しておりますが、今回は、当社グループ会社である株式会社安評センターが本年4月1日に実施した、公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターからのCRO<sup>※1</sup>事業の譲り受けが、CRO事業分野の来期業績に与える影響が大きいこと、また、新規事業であるTGBS事業が平成31年3月期から一年を通して業績に大きく貢献することを勘案し、本日開示することといたしました。

平成31年3月期通期連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 連結当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
	8,500	136.1	300	400.0	250	1,685.7	150	650.0	9.20

なお、上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

売上高の大幅な拡大については、株式会社安評センターのグループ加入を主な要因として、創薬支援事業全体で約900百万円前後の拡大、及び、新規事業であるTGBS事業<sup>※2</sup>セグメントが有するEコマース事業の業績貢献で約4,000百万円前後の拡大を見込んでおります。また、営業利益の拡大についても株式会社安評センター加入により、中核事業であるCRO事業営業利益の拡大を主な要因として創薬支援事業全体で約200百万円前後の拡大、及びTGBS事業セグメントの一年を通しての利益貢献で約40百万円前後の拡大を見込んでおります。

※1 Contract Research Organization（医薬品開発業務受託機関）

※2 TGBS事業とは、昨年11月に設立した株式会社TGビジネスサービスによる事業であり、幅広い分野における事業承継及び事業再生分野に係る助言・支援サービス、並びにM&Aを行います。

以 上